

# 静岡市郊外の棚田でお米を作って23年

## (5-1) 棚田の生き物写真アラカルト (哺乳類編)

天岸祥光

(注) 多くの赤外線写真は NPO の協力を得たものである。

QR コードを読み取ると動画映像が見られます。

### アナグマ

日本昔話に出てくる貉(ムジナ)はアナグマかタヌキを指す。



アナグマ



母屋



糞現場 (物置小屋)

### タヌキ

タヌキは逆に昼間見ることはほとんどない。この写真は赤外線写真である。



よく肥えたタヌキ

### ニホンイタチ

イタチはすばしっこいのでなかなかカメラでとらえられない。



動画の最後に出てきたカエルらしき動物をくわえるイタチ



<https://youtu.be/x4zbn3zjxc>

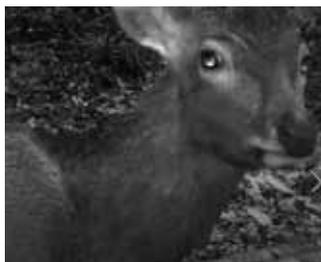
### ニホンジカ

左下の赤外線カメラに写っているニホンジカは、我々がいないと昼間でも現れて最近では植えた稲の新しい葉を食べようになり、夏過ぎに張っていたネットを春先から張らなければならなくなりました。

普通は尖端の角は最大4本であるが、NPO 三宅飛鳥さんが5本のシカを発見 (QR コード動画と右2枚の写真)。その5本の角が何とその後棚田に落ちていて今では清沢塾の宝物!



[https://www.youtube.com/watch?v=t2ZybR\\_1g](https://www.youtube.com/watch?v=t2ZybR_1g)



## ニホンノウサギ

野兎がまだいるとは思っていただけに、赤外線カメラに写ったのは思いがけない収穫であった。



<https://youtu.be/1CN25Eqcgr0>

右の QR コードで示すように野兎の求愛活動が初めて観測された。

## ハクビシン

人家の庭や畑に出没するハクビシンやアライグマは我々の棚田の赤外線カメラには写ったことはないが、最近ハクビシンがモリアオガエルの卵塊を狙ってやってくるのが分かった。



棚田から少し登ったところの溜池にハクビシンがアズマヒキガエルの卵塊を食べに来る姿をミュージアムの岡宮研究員が撮影に成功した。

## イノシシ

棚田の最大の敵はイノシシ。稲穂が大好きで、せっかく実った稲穂を全部食べられてしまったことがこれまで二度あった。今では1万ボルトの電気柵を張り巡らして、何とか侵入を防いでいる（この電気柵に接触してもイノシシが死ぬことは決してないように工夫してある。勿論人間が触っても心配ない）。



<https://youtu.be/hqmMFgKWqrg>



溜池の近く（夕方がいないと現れる）



これは夜



棚田の隣の茶畑に現れたイノシシの子ども

## ニホンカモシカ



屋間でも現れる



<https://youtu.be/MwIfQkiK2EY?t=1>  
栄養満点のニホンカモシカ  
の画像



棚田に入ってきたニホンカモシカの子ども

## ニホンザル

赤外線カメラにより、予想以上の数のニホンザルが棚田の周りに出没していることが分かった。今のところ稲への被害は出ていないので、特別な対策は施していない。



<https://youtu.be/SD15zVvXi-k>

この猿たちが稲穂を食べだしたら、我々はパニック状態に陥ってしまうかもしれない。イノシシと同じレベルの電気柵では恐らく通用しないだろうから。

従って、我々の棚田が将来的に悩ましいことは、1) 猿が稲を食べ始める、2) 熊が現れる、の二つであろう。

次回は棚田に現れる哺乳類以外の生き物アラカルトを予定している。